

2008/05/01

生活安全・危機管理・消防・情報化社会特別委員会

民主党ヨコハマ会 山崎誠

横浜市のIT化推進について

1. 情報システムに関する現状把握

- 1) 横浜市の情報システムの全体像についてどのように把握しているか。情報システム一覧の位置づけはどうか。
- 2) 情報システム一覧に対してどのような分析を加えているか。分析結果からどのような課題、問題点を把握しているか。

情報システムの点検のポイント

- ・ 機能として重複しているシステムがあるのではないか、統合すべきシステムがあるのではないか
- ・ そもそも使われていないシステムがあるのではないか
- ・ 構築後時間がたっているシステムについては改修あるいは新規に作り直したほうがライフサイクルコストとして割安になるのではないか

情報システム台帳管理（システムの更新履歴等が把握できる資料）を早急に整備する

システムの過去記録

- ・ 開発時のシステムに関する情報（機能概要・基本設計書・開発元・市担当者・使用開始時期・コスト）
- ・ システム更新・修正の記録（更新機能・設計書・開発元・市担当者・更新年月日コスト）

システムの現状

- ・ 現行の機能、利用頻度、ユーザー情報、管理担当部署、担当者名、ハードウェア構成、ネットワーク、セキュリティー、保守費用、管理業者

システムの将来

- ・ 現状のシステムに関する課題、今後のシステムの更新予定等

2. ITにかかわる人材について

- 1) IT担当者の配置状況はどのようになっているのか。各区、各局に配置されているIT担当者の権限・役割、ITスキル（資格取得状況、ITにかかわる業務経歴、専門教育の状況）は把握できているか。IT担当者の要員、配置状況について課題はあるか。
- 2) 今後の組織体制の見直しの方針についてどのように考えているか、今後の見直しスケジュールは。

問題意識：局、区を含めてIT担当者の人材把握が必須。IT担当者を行政運営調整局に集めてIT推進担当として一元管理、各現場へは局からの派遣の形をとってはどうか。現有のスタッフで力不足がある場合は外部からの人材の登用等を検討する必要がある。適材適所の配員を実現してもらいたい。

IT人材に関する台帳を整備すること。

・所属部署、現在の役職役割・権限、業務経歴（システムに関連する業務、その他）、ITスキル（資格、研修会参加歴等）出身学部等

3. IT化戦略について

- 1) CIOを中心とした電子市役所推進体制について、どのような内容か。今までとどこが変わったか。
- 2) IT化推進本部をどのように位置づけているか、どのような議論をしているのか。
- 3) 個別課題検討委員会の検討テーマはどのように決められたか、検討メンバーはどのように選んでいるか。

問題意識：横浜市としてまず現状の課題、問題点の把握が必要。その上でシステム構築の方針をしっかりと立てて作業に入る必要がある。検討メンバーには、システム構築、システムの業務適応に見識のある専門家の参画が不可欠である。

- 4) 新しい体制でどういう効果を上げようとしているのか。具体的な目標はどのように設定しているか。

問題意識：具体的なコスト削減目標、サービスレベル向上の目標設定が欲しい。情報システムに関するコスト管理が確実に行えるようにする必要がある。

- 5) 情報システム構築・改修の進め方（優先順位付け等）についてどのような方針に基づいて実施してゆこうとしているか。

問題意識：IT化推進本部を中心に、全庁にわたるシステムの再構築の具体的な方針、目標を設定すべき、業務コンサル+システムコンサルのノウハウが必要となる。

- 6) 情報システム構築プロジェクトの管理について現状の課題と今後の対応についてどのように考えているか。

問題意識：業者任せになっている情報システム構築プロジェクトを発注者である行政側で管理できるようにする必要がある。そのためにプロジェクト管理のノウハウを身につける必要がある

4. セキュリティー対策について

- 1) 現状の庁内LANのセキュリティー対策について、どのような状況になっているか。平成20年度の庁内LANネットワーク更新、セキュリティー対策費用について予算額はどのようになっているか。
- 2) 情報関連の事故の状況はどうなっているか。それらの特徴はどうなっているか。
- 3) 新しいCIOの体制について、セキュリティーもテーマになっていますが、具体的にどのように取り組んでいくのか。

問題意識：人的ミスによる情報漏えいが問題になっていることが分かる。システム全体のデータの暗号化する技術など、最新のセキュリティーの仕組みをとり入れる必要がある。コストを考えても、20年度の2億円のお金をかけるネットワーク更新、セキュリティー対策について、最新の技術を導入することで

(参考)平成19年度情報システム一覧について

- 4) 本リストで横浜市すべての情報システムが網羅されていると考えてよいか。リストアップした基準は何か。(抜けているシステムがある、ex. 安全管理局安否確認システム、現在進行形の危機管理センターのシステム開発など)
- 5) 区のシステムについて、6区のみが掲載されているが他の区はどのように把握しているのか、そもそも区の使用しているシステムについてはどのように管理運用されているのか。
- 6) 「H19電算関係予算」について
システム構築にかかわる費用/保守費用を分けて把握したい
ハードウェアに関するコスト/ソフトウェアに関するコストを分けて把握したい

《以下個別のシステムについて》

- 7) 7例規データベースシステム：8の文書管理システムとの関係は
- 8) 9、10 新人事給与システム：どのような内容のシステムか、他の局のシステムと統合できないか（水道局、交通局）
- 9) 15、16 庶務事務システム：どのような内容のシステムか、 と の区分は、将来の保守費用は
- 10) 22 連携システム：どのような内容のシステムか
- 11) 33、34 行政資料検索システム、行政文書検索システム：どのような内容のシステムか、文書管理システムとの一元化は可能か
- 12) 35 市民活動支援人材バンクシステム：どのような内容のシステムか
- 13) 36 公聴情報データベースシステム：どのような内容のシステムか
- 14) 39、40、81 市民利用施設予約システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 15) 49 国民健康保険料収納対策支援システム：どのような内容のシステムか
- 16) 52 横浜市リハビリテーション情報システム： "
- 17) 60 栄養改善健康増進事業用システム： "
- 18) 64、66 墓園管理システム：どのような内容のシステムか、2つのシステムは統合できないか
- 19) 65 斎場予約システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 20) 69 結核患者情報システム：どのような内容のシステムか
- 21) 76 大気・水質常時監視システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 22) 85 排水設備システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 23) 92 産業廃棄物情報管理システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 24) 95 経済観光局統合データベース：どのような内容のシステムか
- 25) 98 計量検査システム： "
- 26) 99 横浜市勤労者福祉共済OAシステム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 27) 104 都市計画情報提供システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか、都市計画図書縦覧システムとの関係
- 28) 122 横浜市リアルタイム地震防災システム： "
- 29) 126 地震情報収集システム：どのような内容のシステムか、横浜市リアルタイム地震防災システムとの関係は
- 30) 128 横浜市教育情報ネットワークシステム：どのような内容のシステムか
- 31) 131 文化財情報利用システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか

- 32) 133 行政情報ネットワーク：どのような内容のシステムか、横浜市教育情報ネットワークシステムとの関係は
- 33) 134～139 選挙関係のシステム：そういう内容のシステムか、どのくらいのコストがかかるのか
- 34) 141 会議録検索システム：どのような内容のシステムか、行政資料検索システムとの関係は
- 35) 143、144 料金事務オンラインシステム：そういう内容のシステムか、今後のシステム移行の予定は
- 36) 148、152 人事給与システム：どのような内容のシステムか、統合化できないか、交通局のシステムの保守費用は

以上